

## 漆工資料応急処置技術研修会実施要項

### 1 目的

東日本大震災後、被災地に蓄積されている被災資料修復に関するノウハウを共有し、次なる大規模自然災害発生時にも対応可能な人材育成をはかるとともに、参加者間の交流を通じて文化財防災のネットワーク形成に資することを目的とする。

### 2 主催

東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト実行委員会

(中核館：岩手県立博物館)

### 3 日時

令和6年1月12日(金)

[午前の部] 10:00~12:00

[午後の部] 14:00~16:00

※1回当たりの参加可能人数に限りがあるため同一内容で二回実施するもの。

※各回定員を10名(先着順)とします。

### 4 会場

陸前高田市立博物館生出収蔵庫(岩手県陸前高田市矢作町字二田野55)

### 5 講師

小西寧子氏(漆芸家)

### 6 対象

博物館学芸員及び自治体の文化財担当職員等最大20名程度

### 7 内容

劣化した漆工資料に対する応急処置法に関する技術講習。

(塗膜剥離部や資料本体の破断部に対し膠を用いた接合を施すもの。)

### 8 申込

別紙申込書による。**【締切：12月25日(月)】**

### 9 備考

・1月11日(木)に同会場において、講師による作業風景を動画で撮影し、編集した映像をプロジェクトホームページで公開し、参加者以外にも共有をはかる。

・持参が可能なものについては、各所属で取扱いに苦慮している資料(実物・または劣化状況がわかる画像など)を持ち寄り、講師から助言を受けられる場面を設ける。

